

時代の変化と意識改革

地域経営の担い手を目指して

ソーシャル
アントレプレナーシップ
の勧め

佐藤修

qzy00757@nifty.com

<http://homepage2.nifty.com/CWS/>

時代の変わり目

行政のあり方が問われている
私たちの生き方が問われている

自治体を取り巻く環境は大きく変化しています

行財政改革

地方分権

市町村合併

住民参加

これが大切！

仕事は
やりやすくなりましたか

地域は
住みやすくなりましたか

時代の変化は見えていますか

何が
問われているのか

夕張市破綻

どこの自治体にとっても他人事ではありません
起こってしまうとみんなの人生が変わってしまいます

破綻から
何が始まったか

時代の変わり目に大切なのは

ビジョン

ミッション

しっかりした
時代認識

地域経営の時代

時代の方向性

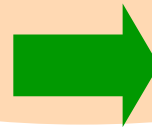
個人から発想する動き
つながりを大切にする動き
生活を大切にする動き



NPO活動の広がり

地域社会の変質

行政主役の
住民参加



住民主役の
行政支援

自治体行政の変わり目

発想の転換

が求められているのではないか

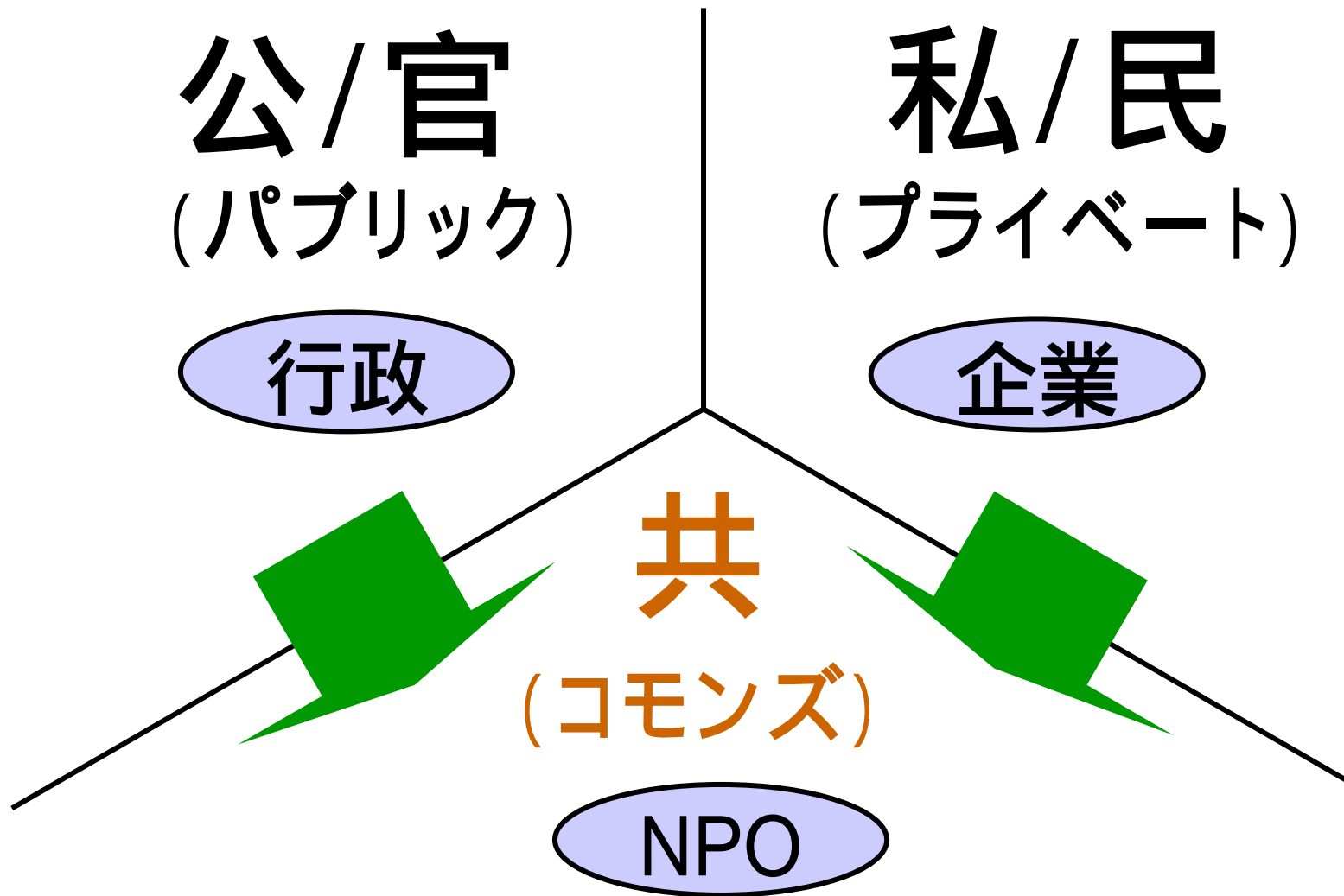
国のためではなく、
首長や役場のためでもなく、
地域社会のため、
住民の生活のための行政

そもそも
社会とは何だろうか

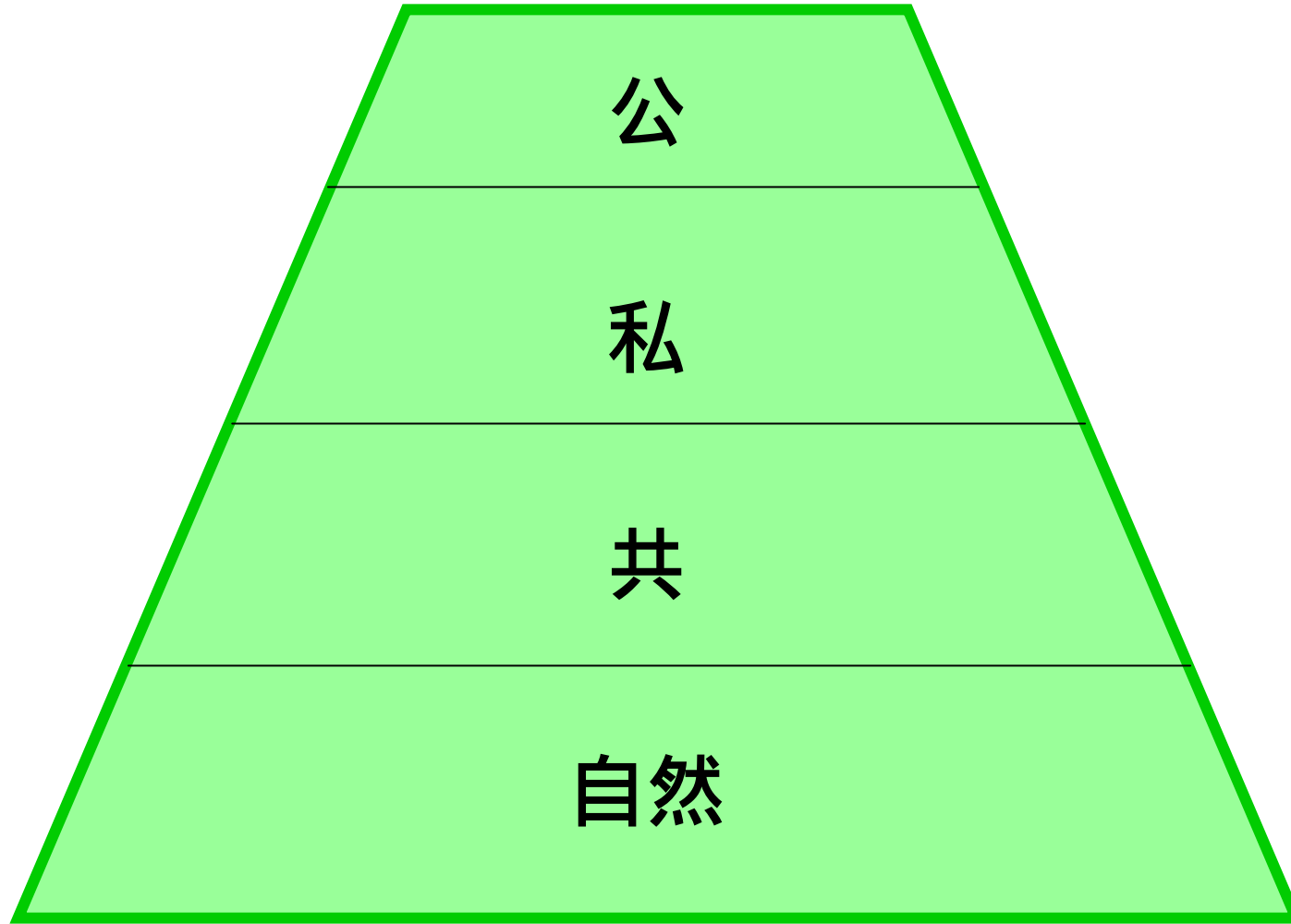
そして

県や市町村は
社会の中のどこにあるのだろうか

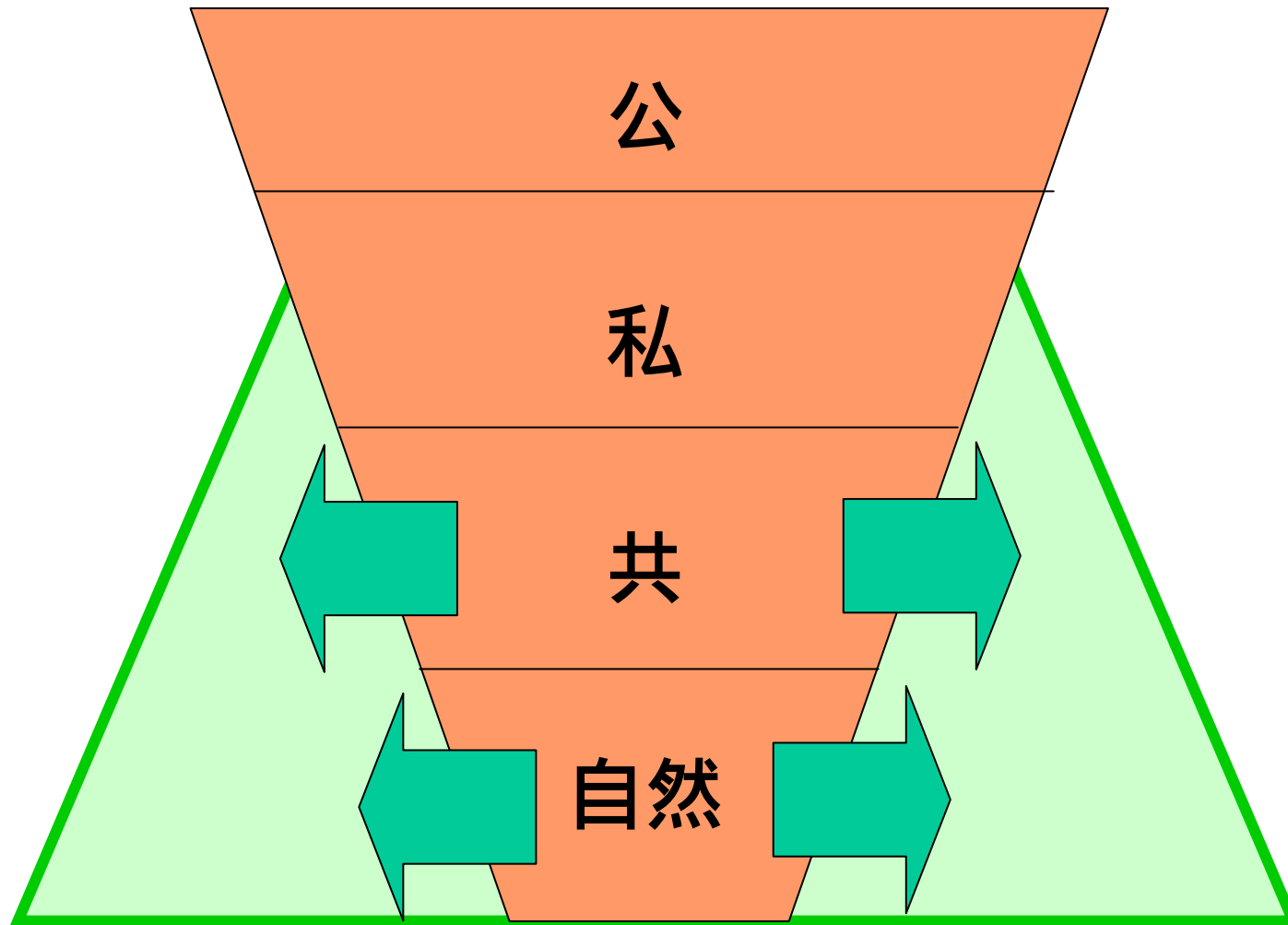
社会を構成する3つのセクター



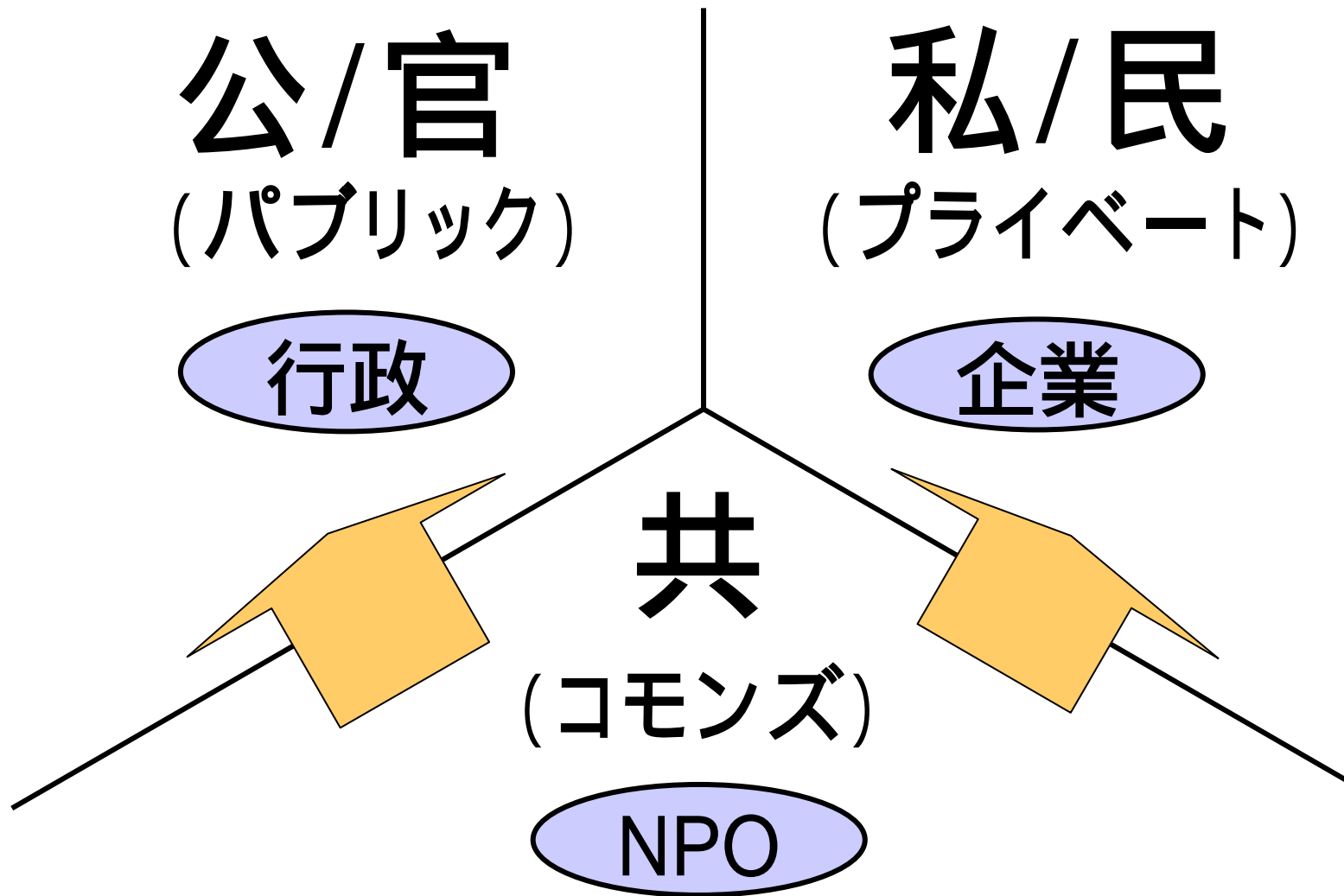
安定した社会



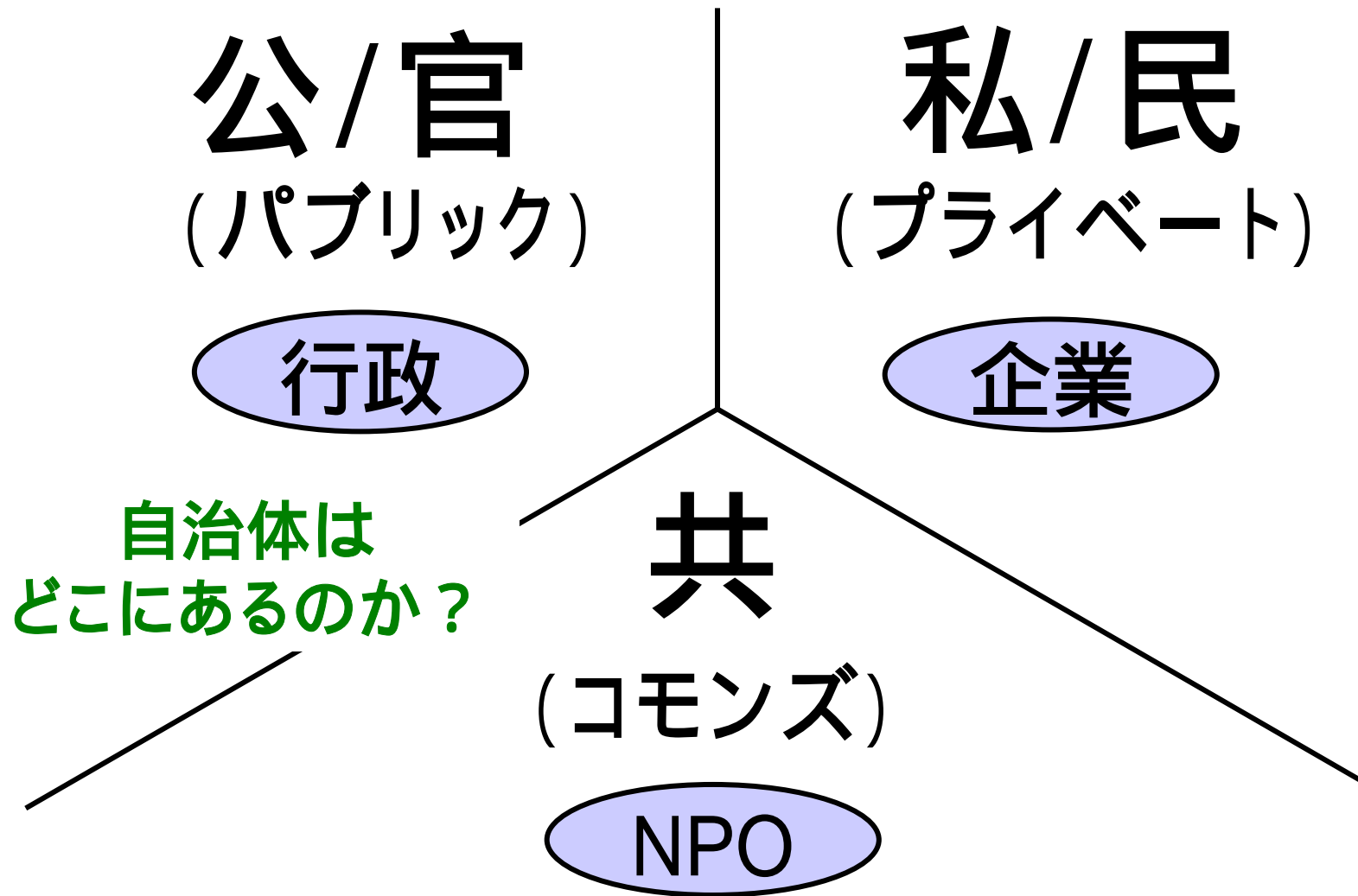
安定した社会 ← 不安定な社会



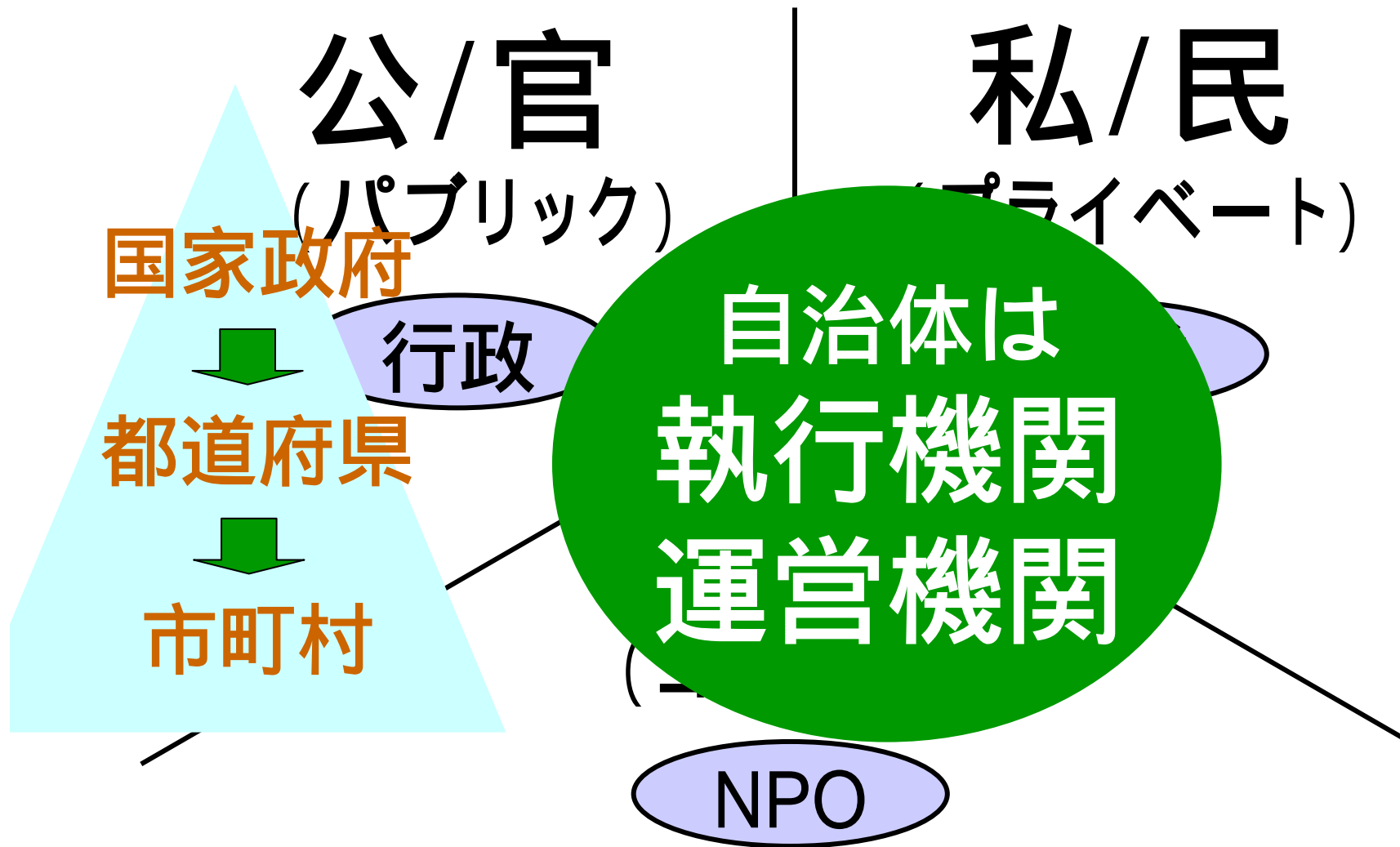
時代の流れ



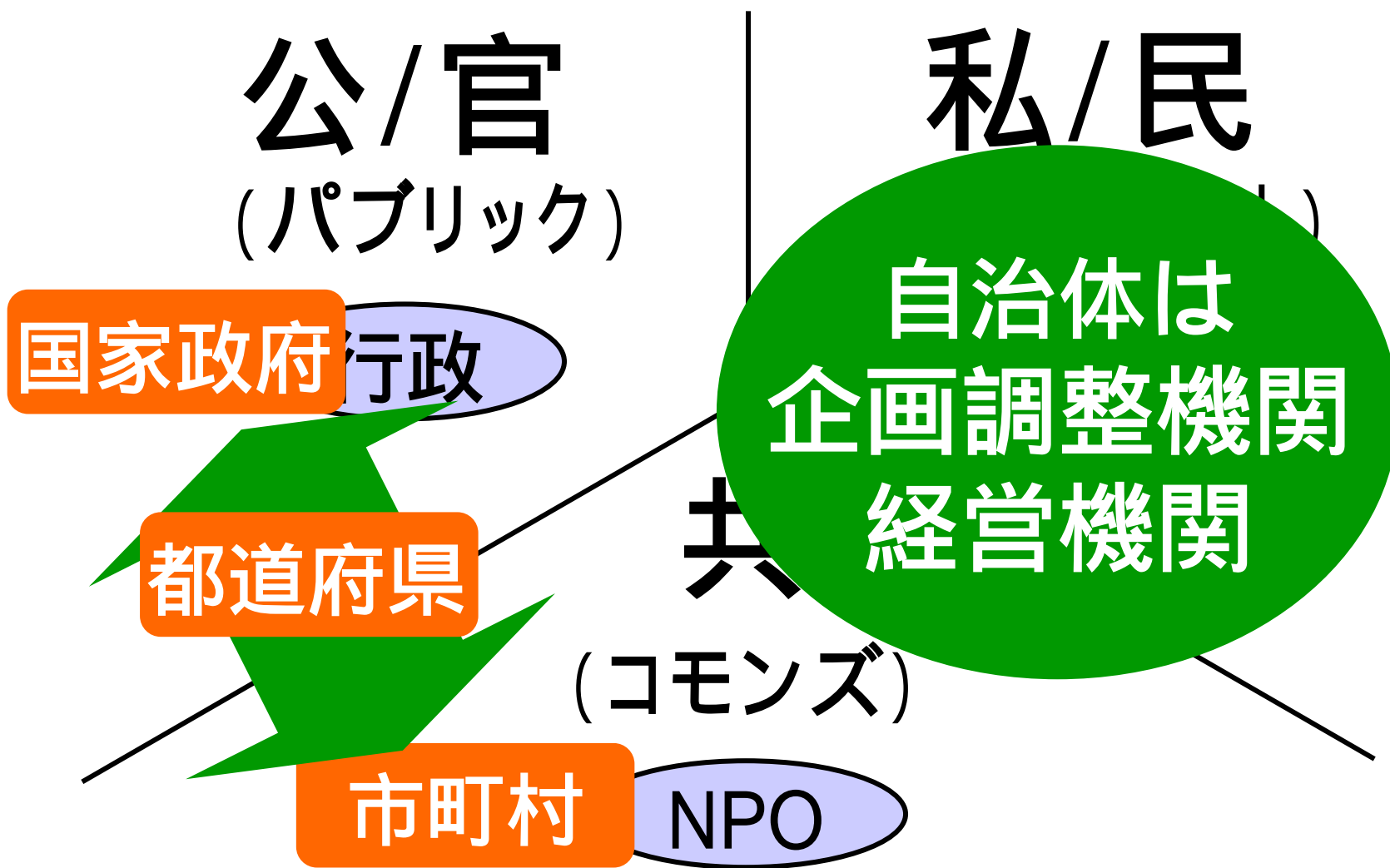
社会の中での自治体の位置づけ



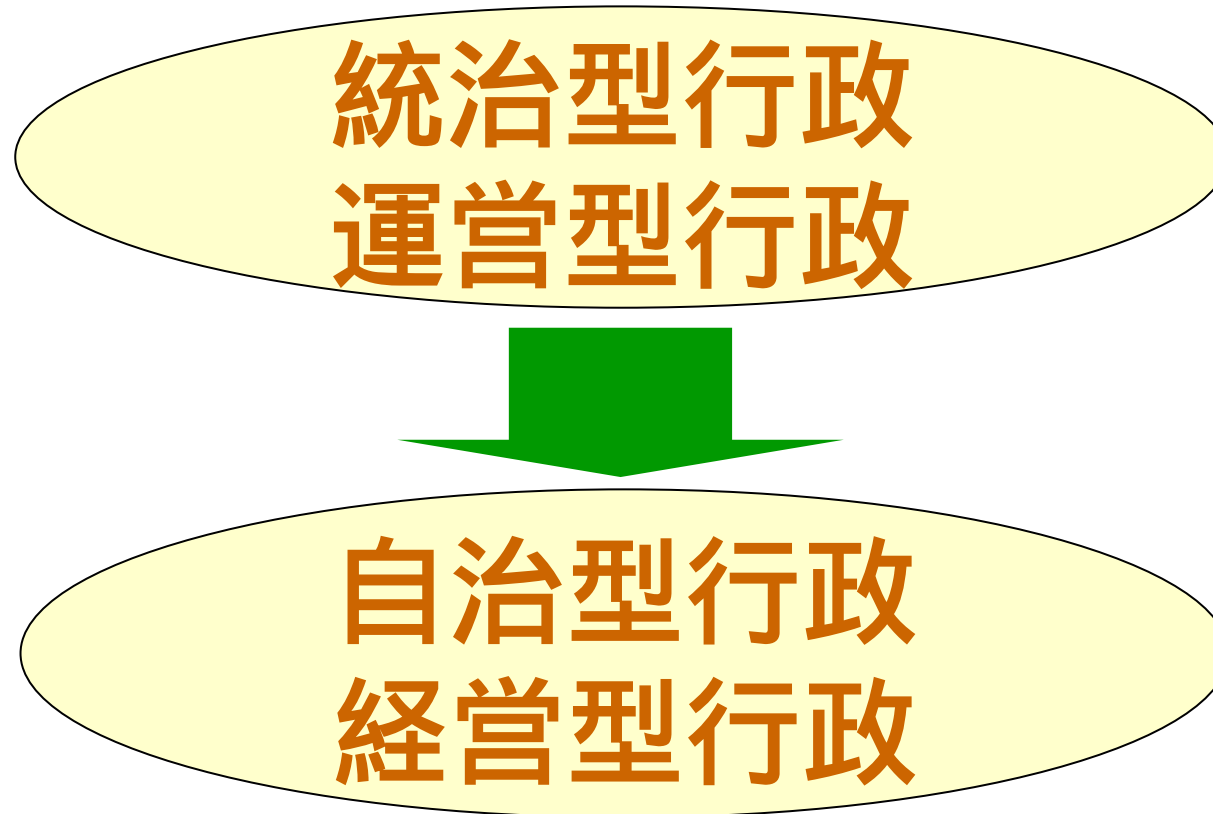
現在の構図



地域主権・住民自治の時代へ



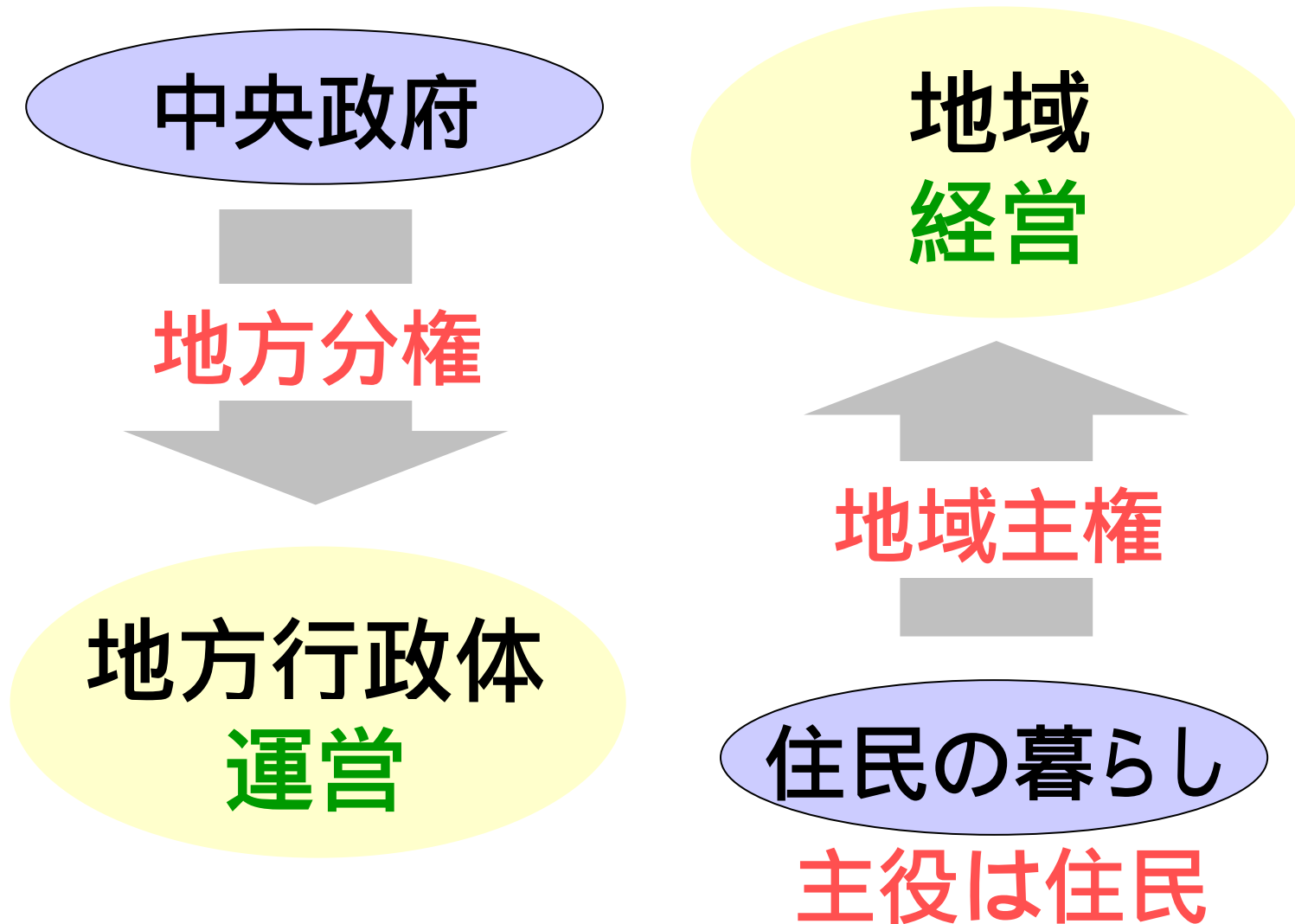
自治体行政の大きな転換期



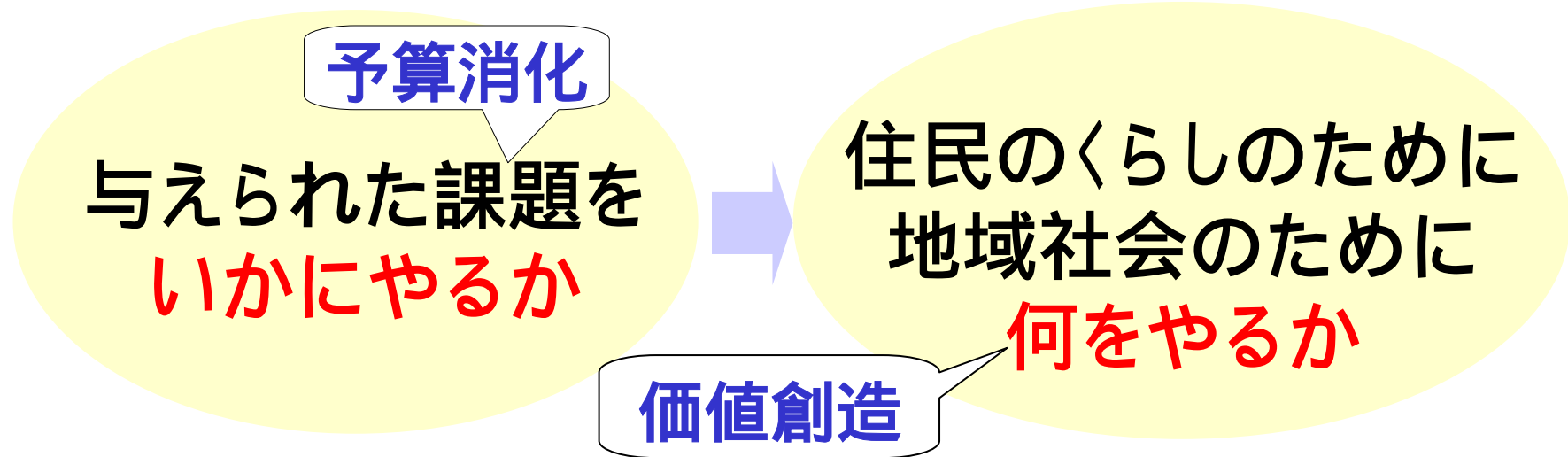
地域を楽しく豊かにするのはそこに住む住民たち

住民主役・地域主権の発想

統治体から自治体へ



運営から経営へ



事業の捉え方の変化
住民との関係の変化

政策の違いが
自治体の差になっていく

もうひとつの課題

財政問題

コストセンターとしての
運営体(サービス機関)



プロフィットセンターとしての
経営体(価値創造機関)

発想の転換

お金がないことをチャンスにする

統治から自治へ 自治体行政の役割

行政の仕組みや立場を活かした
地域に立脚したプロジェクト起こし

自治体職員にも
起業家精神(アントレプレナーシップ)
が求められだした。

地域経営の担い手を目指して

ソーシャル
アントレプレナーシップ
の勧め

いよいよ本論

組織に使われずに
組織を活かしていくために

時代の変わり目には課題が山積

新しい事業
新しいプロジェクト
を起こしていく人

起業家
アントレプレナー

ソーシャルアントレプレナー 社会起業家

社会に新しい価値を創り出す人

スワン
ベーカーリー

アサザ基金

市民バンク

第1のポイント

ソーシャル

社会の視点とは何か

ブロムレイ・バイ・ボウの物語

ロンドン郊外の荒廃した地域での
牧師アンドリュー・モーソンの活動

地域問題を
解決するために
教会を仕事場
として開放

障害者の働き場

保育園

ダンススクール

カフェ

病院

ヘルスセンター

ホームレス収容施設

起業家支援センター

ブロムレイ・バイ・
ボウ・センター

ブロムレイ・バイ・ボウ・センター



個人のエンパワーメント

救済や支援ではなく、住民一人ひとりの生きる力をつけること

多様性が創造性を生み出す

ジーン・バエルズの死

2人の幼い子どもの母親、ジーンはガンにかかり、35歳で死亡。

さまざまな社会保障システムが
ありながらなぜジーンは死んだのか

システムは、利用者に焦点を当てていなかった。
専門職のためのシステムである。
そして、
誰もジーンと友だちではなかった。

表情のあるつながりがなかった
個人の視点がなかった

現在の行政は
どうでしょうか

ソーシャルとは人のつながり

表情のある個々の
人のつながり(暮らし)から考えること

当事者を巻き込んで、
一緒に価値を作り出していく

過程にこそ最大の価値がある

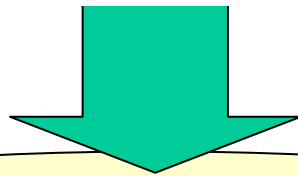
第2のポイント

アントレプレナー
起業家

起業とは何か

事業とは何か

お金(予算)を使うこと
アウトプット志向



価値を創りだすこと
アウトカム志向

地域資源を活かして
自分たちの住みよい地域社会に向けて
自立的・継続的に
イノベーションを起こしていくこと

新しい価値づくり
新しい物語づくり

これが
アントレプレナーシップ

ただ与えられた仕事をするのではなく、
仕事を自ら創りだしていく。

**地域資源
を活かすことがポイント**

どの地域にもたくさん資源があります





あなたのまわりにある資源を考えてください

高齢化によって増えている独居老人住まい
少子化によって空き教室が増えている学校

シャッターが閉まっている商店街

使われない、ちょっと危険な都市公園

立派な公共施設

長年培ってきたノウハウや人脈

資金がないこと

日本1汚れた海

使われていない畑や空き地

資源がなければ
つくればいい

花がない

三沢市の花いっぱい運動

まちにもっと
花を増やしたい

花と緑の
まちづくり活動
支援事業

花いっぱい活動
の展開

支援
打ち切り

さてどうするか

花と緑のまちづくり
推進委員会



自分の庭の花は
助成金がなくてもやりますよね
自分たちのまちではないのですか

住民主役の動き

話し合いを通して意識の変化

してほしい

できる

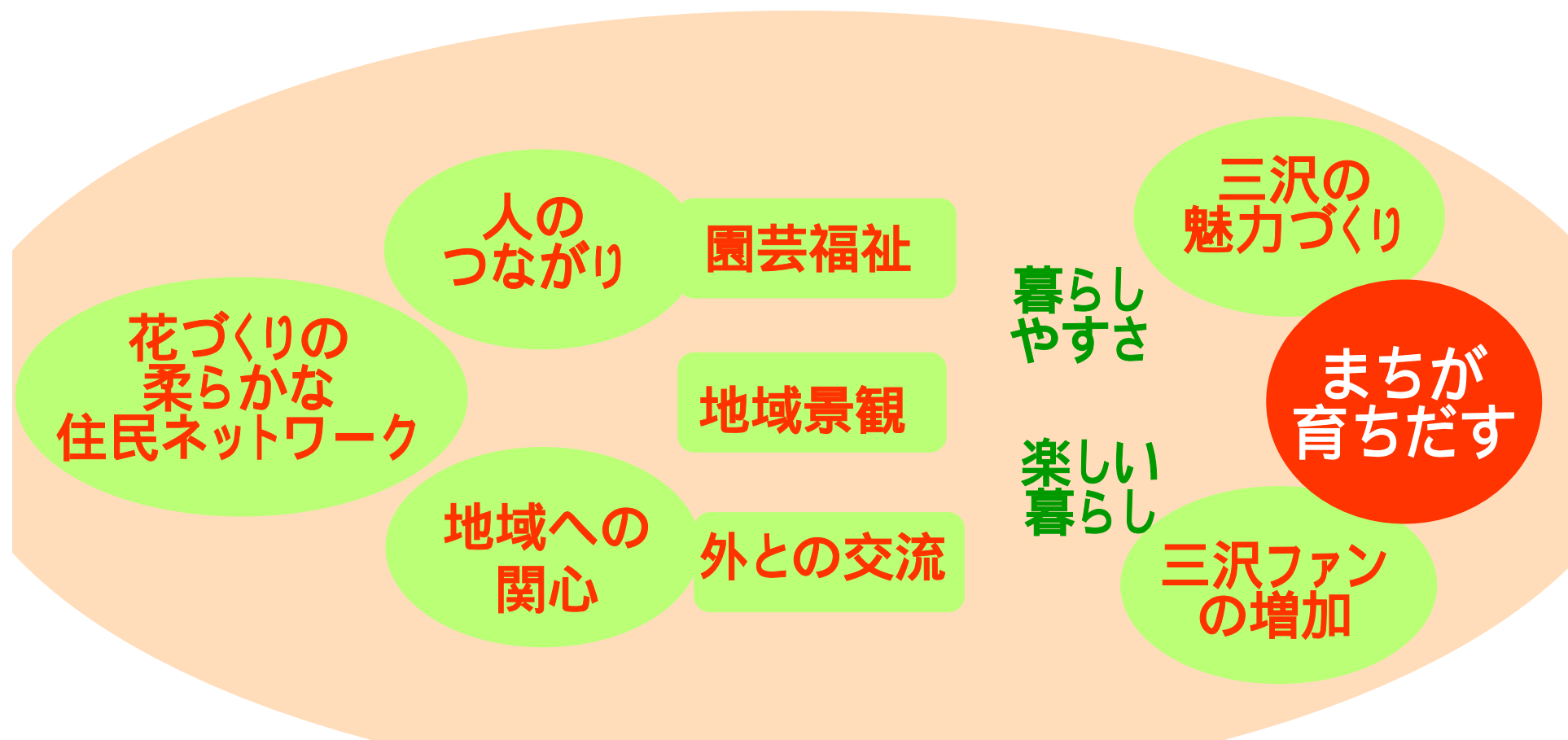
しょう

花と緑のまちづくりフォーラム



花づくりからまちづくりへ

花をテーマに人のつながりと思いを育てる



こうした活動の継続がまちを魅力的にしていく

住民主役のまちづくり

壊れた窓の理論

壊れた窓はまちづくりの大切な資源

地域資源 を活かすことがポイント

どの地域にもたくさんの資源があります

いま無駄になっていることや
いま気になっていることを変えて、
もっと住みやすい社会にしていこう
という事業を起こす人

社会起業家
ソーシャルアントレプレナー

これからの自治体職員の課題

地域資源を活かして
新しい物語を創りだすこと

小さな物語が大きな物語を創りだす

思いをかたちにする
ビジョンを実現する
嫌な現実を変革する

どうすれば
物語を創っていけるか

ソーシャルアントレプレナーシップ
を高めるために

出発点は 世界を広げること

役場から地域現場に出て行く
地域外の世界との積極的なふれあい
役場とは別の活動拠点
ネットワーク資源の拡充
インターネットの活用

そして自分のテーマをもつこと

物語をつくるためにはテーマと材料が必要

ひとりでやれることは限界がある
物語を創りだすには仲間が必要

できるだけ多彩な人の輪

住民

みなさんの一番の仲間は住民

専門家

近隣自治体

これから必要なのは

ネットワーク資源

ネットワーク資源を活かす仕組みとしてのLLP

(LLP: 有限責任事業組合)

アントレプレナーシップをもてば 日常業務の捉え方も変わってくる

時代の変化の中で
仕事も見直していくことが必要

日常業務のなかにも
「小さな物語」の芽はたくさんある
新しい動きが各地で始まっています

固定観念を捨てて新しい物語をぜひ始めてください

仕事の喜び

仕事の誇り

人生が変わる

行動を起こすことが
アントレプレナーの第一歩

最初の一歩を踏み出すと
何かが変わる時代

さて
なにから始めましょうか

まずは
身近な気になる風景を変えていく
「新しい物語」に向けて
メモを書いてみませんか。

新しい物語づくりに向けてのメモ

氏名	対象地域
ビジョン：自分の地域社会をどんなところにしたいですか？	
ちょっと気になること：まわりに気になる風景はないですか	
目標：そのために自分として何をしたいですか？	
資源：実現のために活用できる資源をあげてください。	
実現にあたってのあなたの強みは？	実現にあたってのあなたの弱みは？
プロジェクトネーム：ほかの人に共感してもらうために魅力的な名前をつけましょう。	
実現の目標時期：いつまでにどこまでやればいいですか？	
最初の一步計画：具体的な第一歩として何をしますか？	

気楽に
書いてみてください。

メールで送ってくれたら
コメントします

組織を使い込んで
新しい物語づくりに取り組む
ソーシャルアントレプレナー
になりませんか。

行政の立場で
できることはたくさんあります。
行政でなければできないことも
たくさんあります。

ソーシャルアントレプレナーとは、自分をしっかりと生きる人

さて
何かから始めましょうか。

変化の時代を楽しんで下さい

Enjoy the chance !

面白いことがあったら巻き込んでください。

(株)コンセプトワークショップ佐藤修

qzy00757@nifty.com